

平成27年度 電気通信サービス に係る内外価格差に関する調査

平成28年6月24日

総務省 総合通信基盤局

電気通信事業部 料金サービス課

調査概要

東京などの6都市における、平成28年3月時点の携帯電話（スマートフォン、フィーチャーフォン）、FTTH、固定電話の利用料金について比較調査を実施。

◇調査対象都市（各国の主要都市において比較）

東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、デュッセルドルフ、ソウル

◇調査対象事業者

各国で最もシェアが高く、上記の調査対象都市を業務区域とする電気通信事業者

◇調査方法（Web及び窓口で確認）

①携帯電話（スマートフォン、フィーチャーフォン）

月当たりの利用形態から想定する利用モデルに基づき比較

②インターネット接続サービス（FTTH）

回線使用料、宅内設備レンタル料、ISP料による比較

③固定電話

基本料、市内通話料による比較

◇為替レート

OECDが公表する購買力平価（平成27年）を用いて比較

スマートフォンにおける月々の支払額の比較

○ 通信料金と端末割賦代金が一体となった料金プランを前提として、通話時間・データ通信量等の利用モデル(※1)に係る月々の支払額を比較。

(※1) 端末はiPhone6S 64GB、割賦期間は24ヶ月。通話月69分、メール利用月142通、データ通信量は月2GB/月5GB/月7GBで比較。

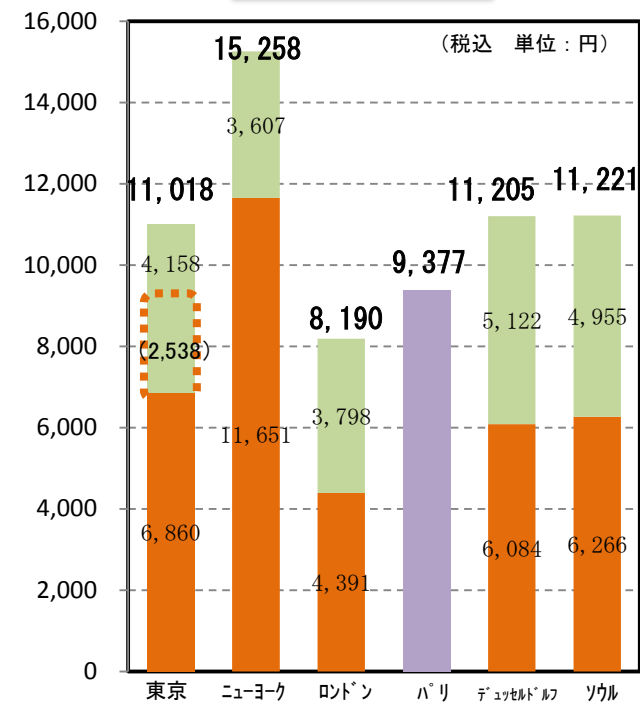
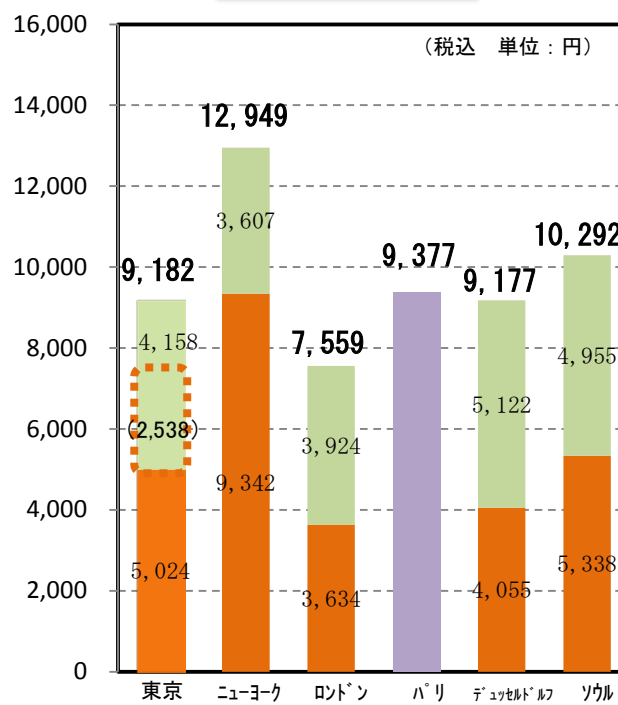
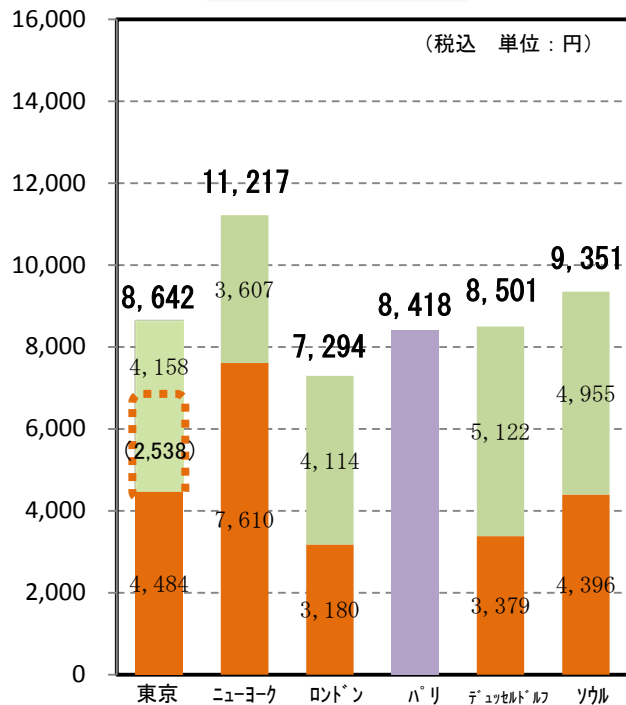
○ 東京の支払額(※2)は、ニューヨークを除く各都市とほぼ同程度となっている。

(※2) 東京の通信料金は、月々の通信料金の割引(月額通信料金割引(新規/機種変更の場合: 2,538円))分を値引いた額を表示。

データ容量月2GB

データ容量月5GB

データ容量月7GB



(注1) 東京の () 内の数値は月額通信料金割引の額。

(注2) 端末代金について頭金を設定する都市(ロンドン、パリ、デュッセルドルフ)は、頭金を割賦期間により月額換算して月々の支払額に加算。

(注3) パリでは、通信料金と端末割賦代金の区分がなく、総額表示となっている。

凡例: 通信料金 (オレンジ) 端末割賦代金 (緑) 通信料金(端末セット) (紫) 月額通信料金割引 (赤点線)

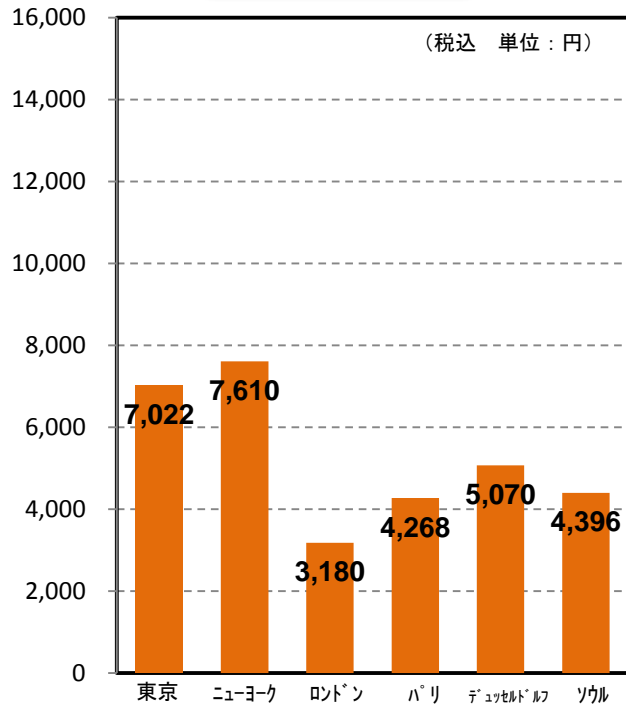
(四捨五入により合計額と一致しない場合がある。)

○ 端末割賦支払後の通信料金(※)の支払額を比較。

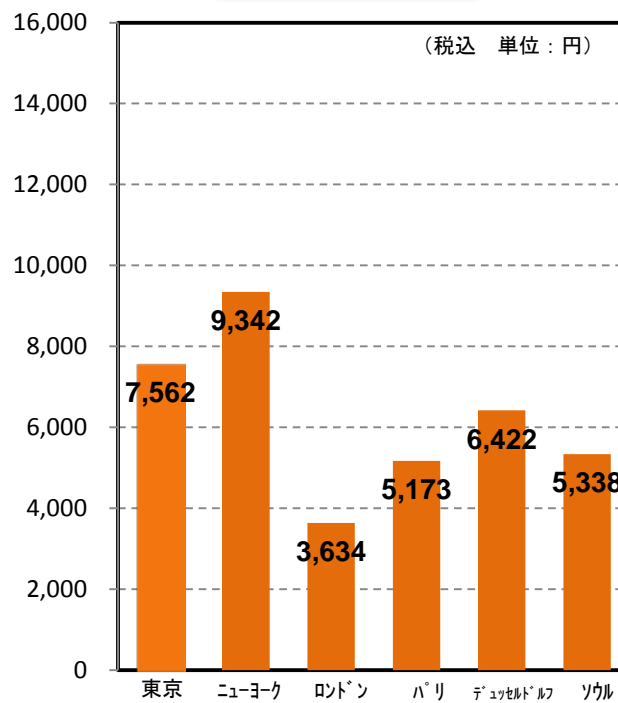
(※) 3年目以降も端末を買い換えをせずに継続して利用する場合の通信料金。
パリ、デュッセルドルフでは、端末割賦支払後にSIMのみ料金プランに契約変更したものと試算。

○ 東京の通信料金は、ニューヨーク以外の各都市と比べて高い水準にある。

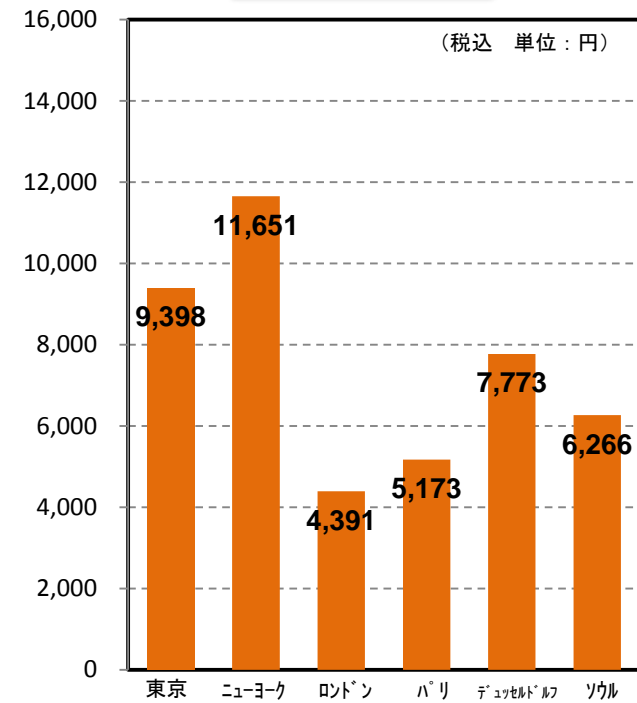
データ容量月2GB



データ容量月5GB



データ容量月7GB



○ 家族4人で契約した場合の通信料金(※1)と端末割賦代金が一体となった料金プランを前提として、通話時間・データ通信量等の利用モデルに係る1人当たりの月々の支払額を比較。

(※1) 東京、ニューヨーク及びロンドンでは家族4人でデータ通信量をシェアする契約、デュッセルドルフは複数回線割引を適用。パリ及びソウルでは同様の料金メニューが設定されていない。

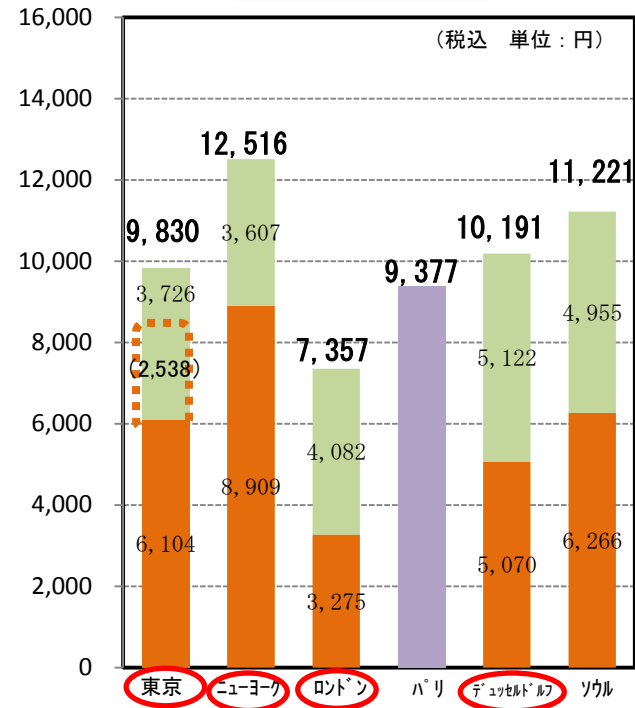
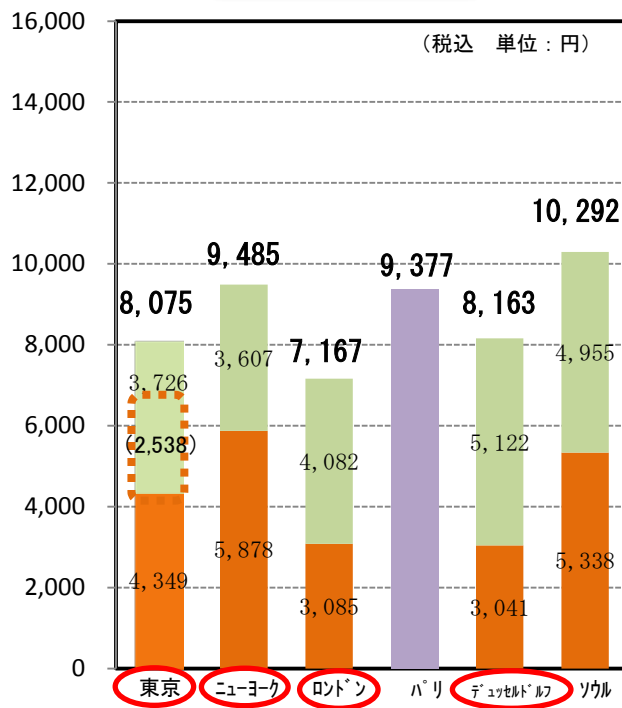
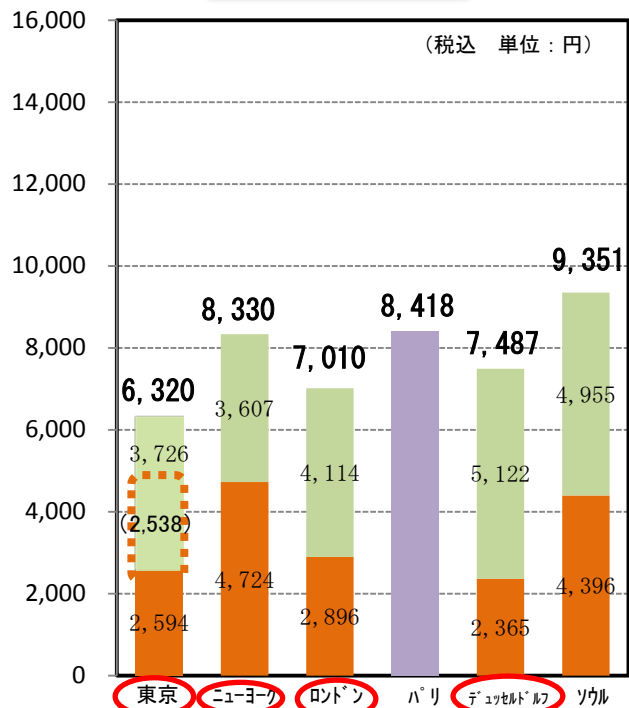
○ 東京の支払額(※2)は、2GBでは最も安くなっており、5GBや7GBでは他都市と同水準となっている。

(※2) 東京では、月額通信料金割引(新規/機種変更の場合: 2,538円)を適用した後の金額を表示。

データ容量月2GB

データ容量月5GB

データ容量月7GB



凡例: 通信料金 (orange), 端末割賦代金 (green), 通信料金(端末セット) (purple), 月額通信料金割引 (dashed box)

(四捨五入により合計額と一致しない場合がある。)

(注1) 東京の () 内の数値は月額通信料金割引の額。
 (注2) 端末代金について頭金を設定する都市(ロンドン、パリ、デュッセルドルフ)は、頭金を割賦期間により月額換算して月々の支払額に加算。
 (注3) パリでは、通信料金と端末割賦代金の区分がなく、総額表示となっている。

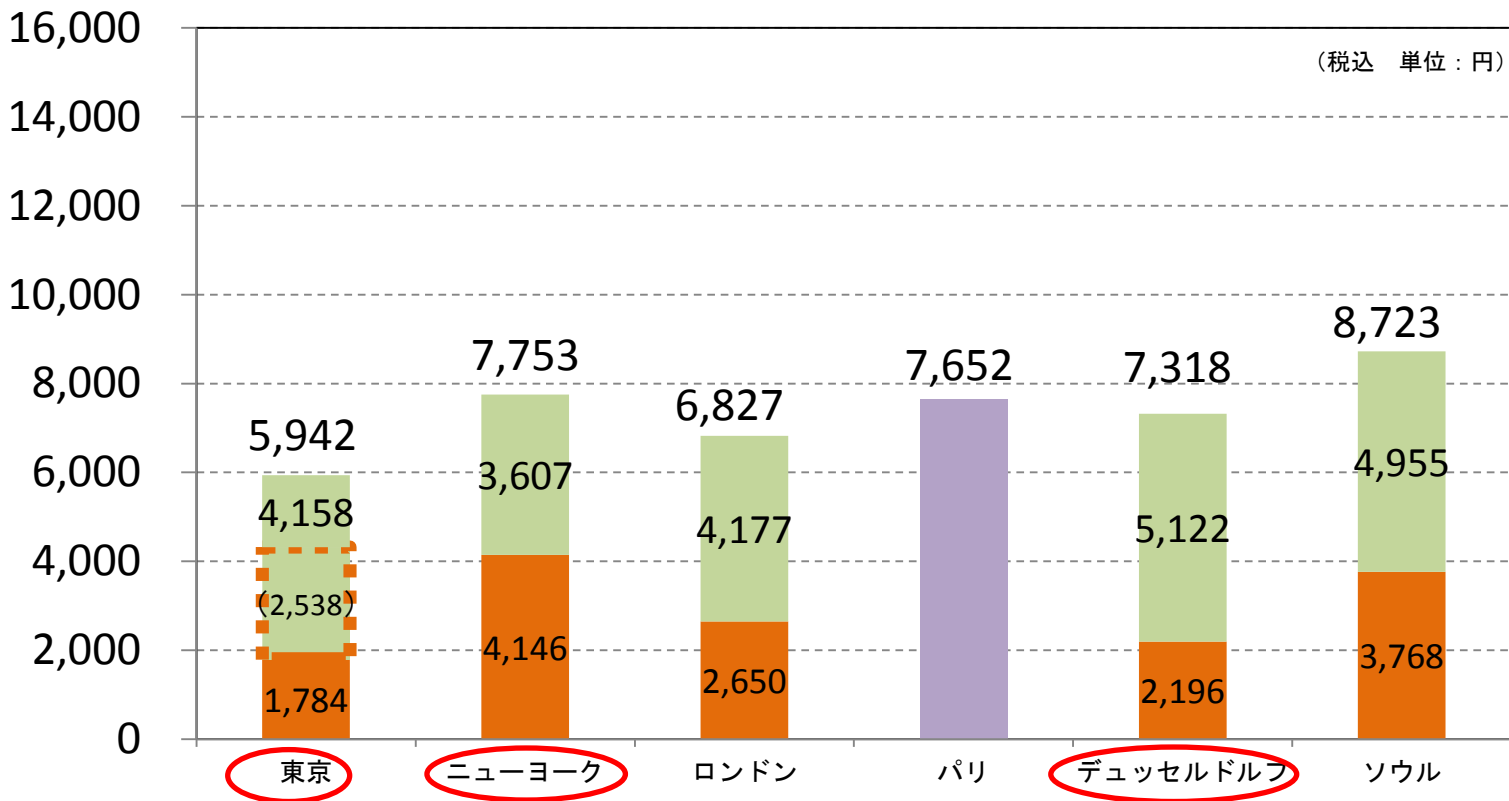
(参考) スマートフォンを1人当たり1GBで家族契約した場合の比較

○ 東京では、本年3月からライトユーザ向けプランが開始されたことから、家族4人でデータ通信量を1人当たり1GB相当とした場合の料金プラン(※1)を前提として、1人当たりの月々の支払額を比較。

(※1) 東京、ニューヨークでは家族4人でデータ通信量をシェアする契約、デュッセルドルフは複数回線割引を適用。ロンドン、パリ及びソウルでは同様の料金メニューが設定されていない。

○ 各都市とも同じ水準であり、その中で東京の支払額(※2)は最も安くなっている。

(※2) 東京では、月額通信料金割引(新規/機種変更の場合: 2,538円)を適用した後の金額を表示。



凡例: 通信料金 (オレンジ) 端末割賦代金 (緑) 通信料金(端末セット) (紫) 月額通信料金割引 (点線)

(注1) 東京の () 内の数値は月額通信料金割引の額。
 (注2) 端末代金について頭金を設定する都市(ロンドン、パリ、デュッセルドルフ)は、頭金を割賦期間により月額換算して月々の支払額に加算。
 (注3) パリでは、通信料金と端末割賦代金の区分がなく、総額表示となっている。

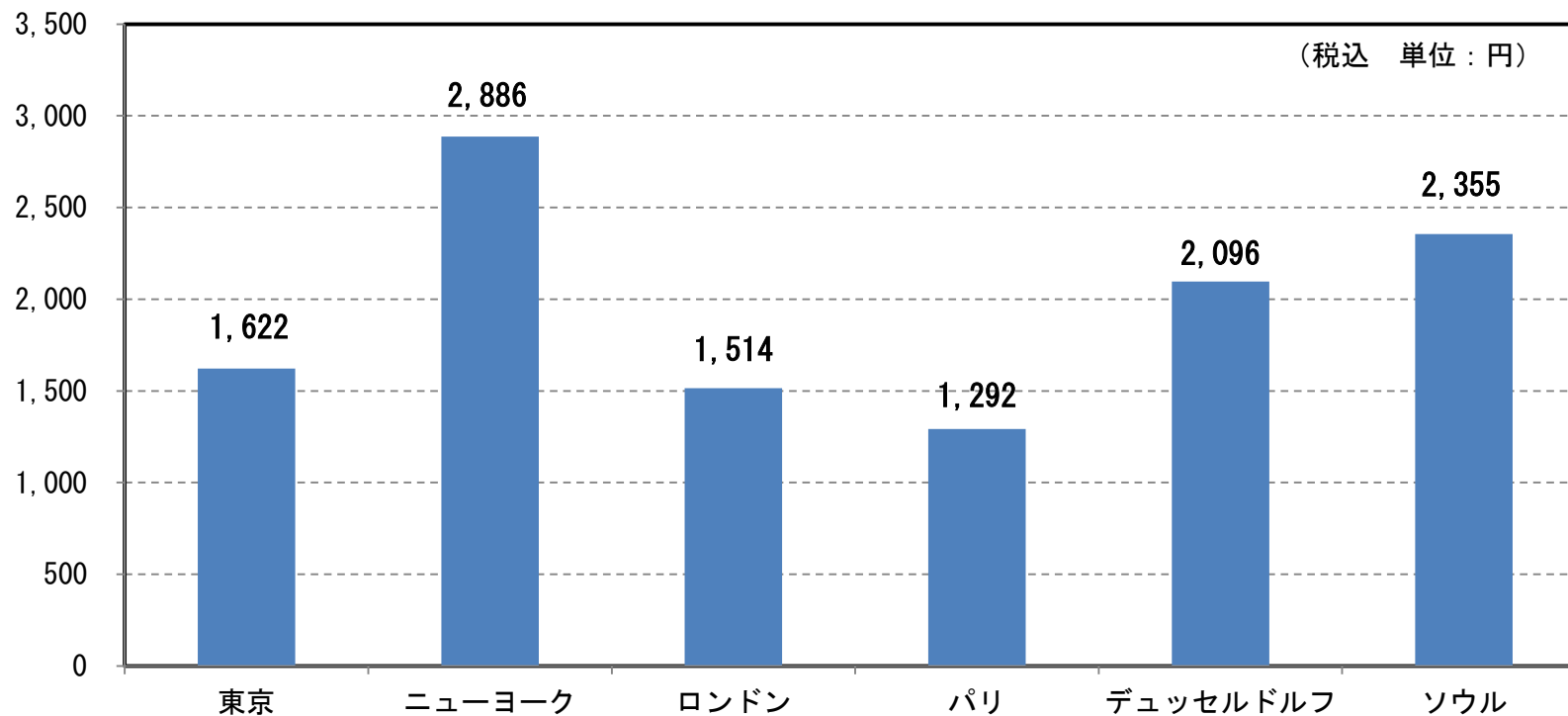
(四捨五入により合計額と一致しない場合がある。)

フィーチャーフォンにおける月々の支払額の比較

- 海外におけるフィーチャーフォンの利用形態をみると、ショートメッセージサービスの利用率が高いことから、音声のみの料金プランを前提として、通話の平均発信分数(月69分※)に基づき支払額を比較。

(※)平均発信分数のうち3割が家族向け通話と想定。

- 東京の通信料金は、ロンドン、パリと並んで低廉な水準となっている。



(※) ロンドンは、フィーチャーフォン向けの料金プランはプリペイドのみ。

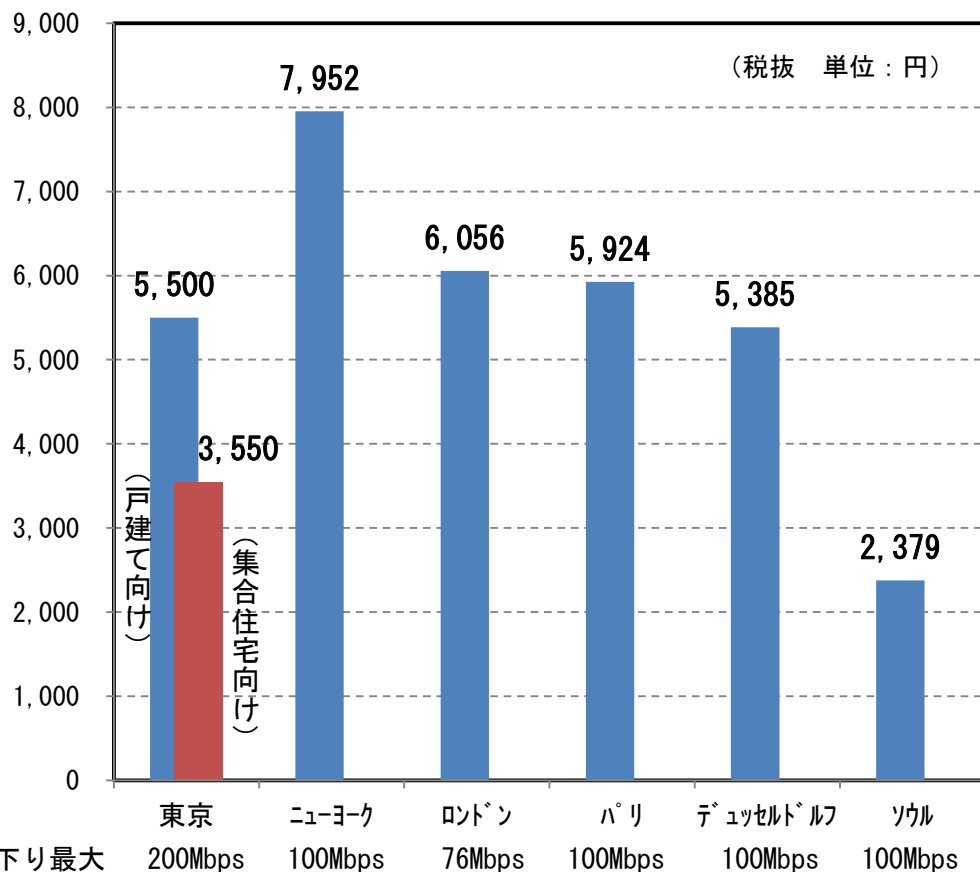
FTTHの月額基本料等の比較

○ FTTH回線を用いたインターネット接続サービスに係る料金について、回線使用料（※）、宅内設備レンタル料、ISP料の月額料金を合算して比較。

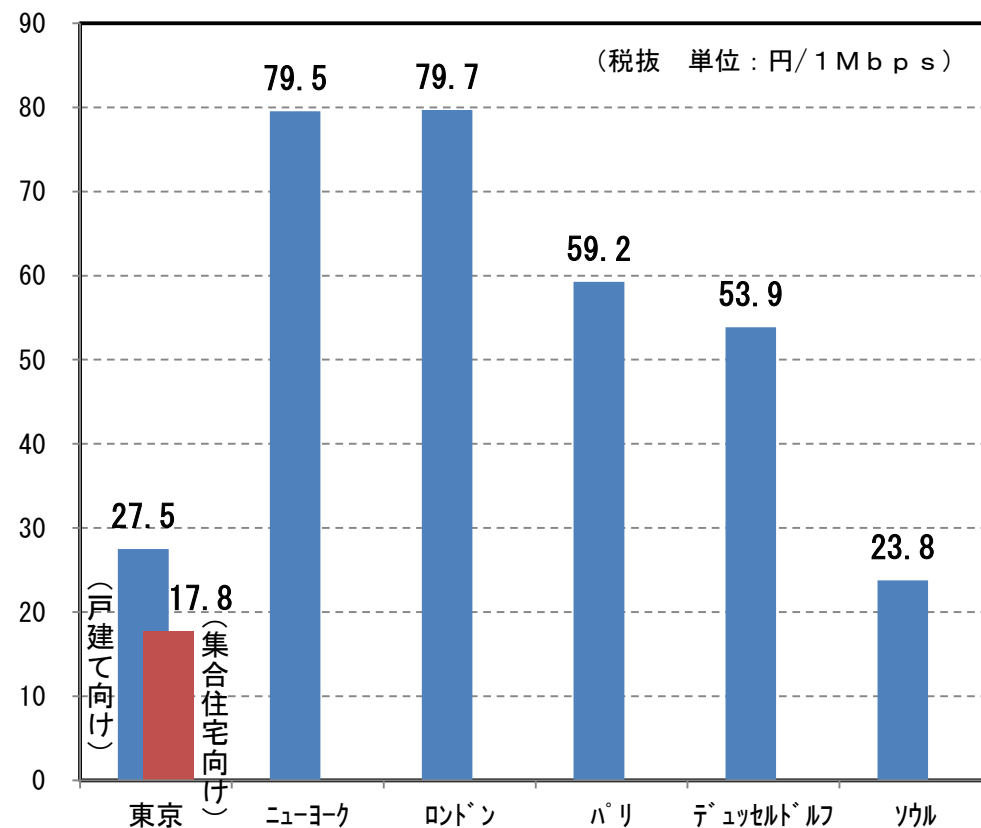
（※）住宅向け料金プランで下りの最大通信速度が100Mbpsのプランで比較（100Mbpsのプランが無い場合は、100Mbpsに最も近いプランを使用。）。

○ 下り通信速度の1Mbpsあたりの料金を見ると、東京の集合住宅向けが最も低廉になっている。

月額料金 (FTTH回線使用料+宅内設備レンタル料+ISP料)



1Mbpsあたりの料金

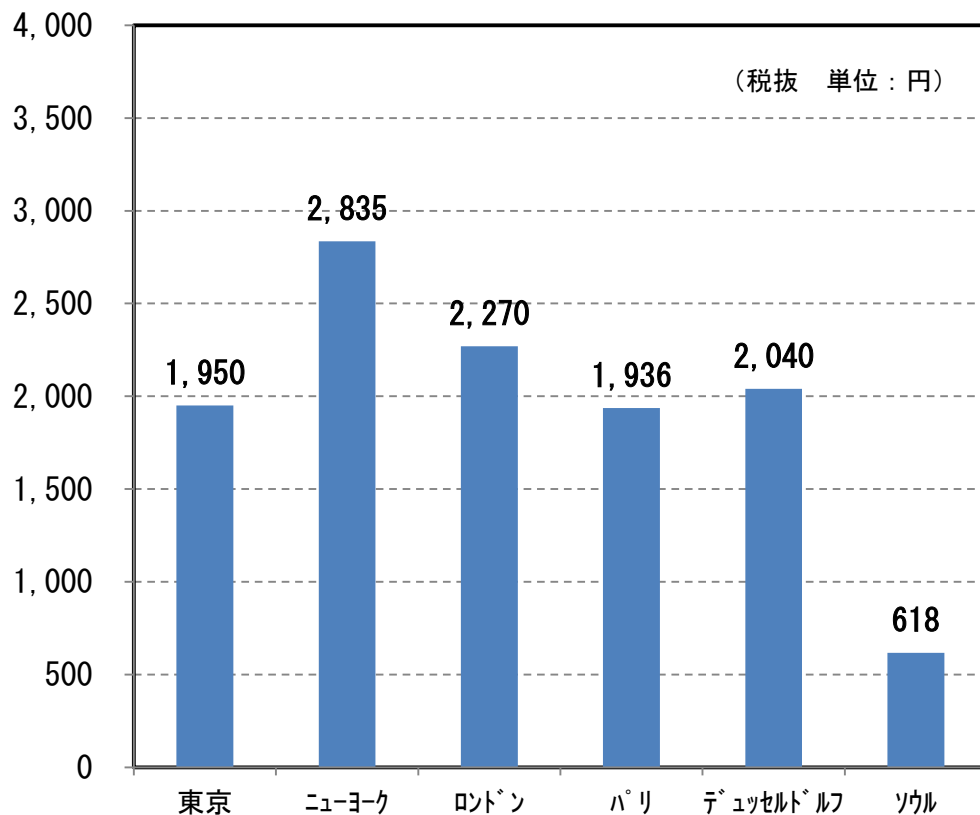


下り最大通信速度

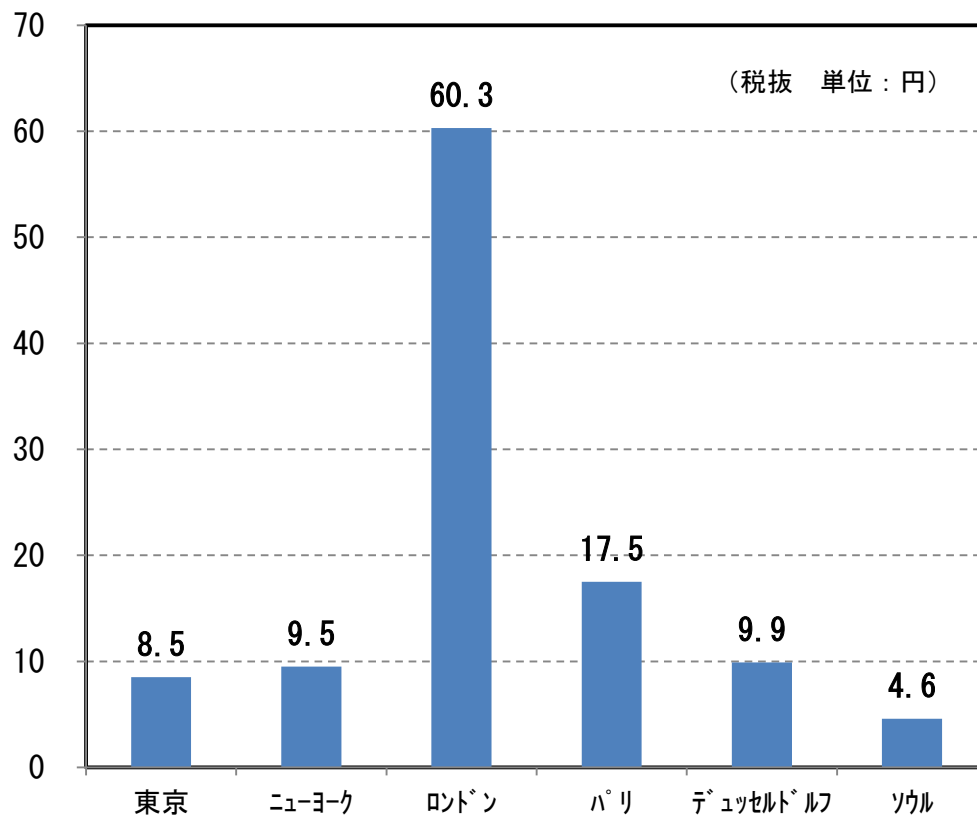
固定電話の月額基本料等の比較

- 各都市でのユニバーサルサービスに相当するアナログ固定電話の基本料、通話料を比較。
- 基本料については、ロンドン、パリ、デュッセルドルフと同水準。通話料については、ニューヨーク、デュッセルドルフと同水準。

基本料（住宅用）



市内通話料（平日昼間3分間）



対象事業者

※平成27年12月1日現在で最も市場シェアが高い事業者

	東京	ニューヨーク	ロンドン	パリ	デュッセルドルフ	ソウル
MNO	docomo	Verizon	O2 UK	Orange	O2	SK Telecom
FTTH	NTT東日本	Verizon	BT	Orange	TD	KT
固定電話	NTT東日本	Verizon	BT	Orange	TD	KT

比較に用いた購買力平価（単位：円）

	米 (ドル)	英 (ポンド)	仏 (ユーロ)	独 (ユーロ)	韓国 (ウォン)
購買力平価※（平成27年） （昨年度調査での購買力平価）	106.0 (104.1)	151.4 (148.7)	129.4 (122.8)	135.2 (130.6)	0.119 (0.122)

※ 購買力平価（PPP：Purchasing Power Parity）：<OECD.stat Extracts, PPPs and exchange rates, PPP for GDP 2015>
OECDが公表する平成27年の数値を採用。貿易などの国際取引や投機の影響・変動を取り除き、経済実態に即した比較が可能。短期的なレートの変動を排し、長期的なレートの目安となり、より生活実感に近い値が求められるメリットがある。